

みんなで築こう、
三春のまちづくり！

今回から、これまでまちづくり協会活動に携わった方や、各種まちづくり活動を行っている方々、そして地域住民の皆さんなどから広くご意見や感想等を寄せさせていただき、今後のまちづくり協会活動の弾みになればと企画しました。第1回目は、湊前広報部会長から「三春まちづくり協会」のあれこれをお聽きしました。

今だから分かる『三春まちづくり協会』のあれこれ！①

前広報部会長 湊 昭一

『三春まちづくり協会って、どんな人たちがどんなことをやっているの?』と今でも耳にします。考えてみれば、私もまちづくり協会の活動に参加してはじめてその存在と内容が分かりました。三春のまちづくりは、昭和53年からスタートした「三春まちづくり協議会」や「各地区まちづくり協会」の地域コミュニティ活動が認められ、昭和59年に国の地域コミュニティ推進政策(住民を主体とした自主・自立のまちづくりによる地方自治体の新しい基盤づくり)の推進モデル地域の指定を受け、県内他自治体より一足早く協働のまちづくり推進への取り組みをしてきました。地方自治体筋では地域コミュニティ活動推進の先進自治体としてその名が注目され、視察や研修のため三春町を訪れたり、大学の自治ゼミ等の講義に取り上げられることがあります。そして、「小さくてもキラリと光る三春町」をめざし当面合併しない道を選び、平成17年には「三春町民自治基本条例」を制定し、住民・議会・行政との協働によるまちづくりを進めていることが、地方分権時代の自治体として先進的な取り組みをしているという評価になっているものと考えます。

更に、「三春まちづくり協会」の組織構成が合理的にできていることです。まちづくりは、保健福祉・教育文化・安全・環境・経済等生活全般に密接に関わって進められます。三春町では、各地区の区長をはじめ、民生委員、商工会、町婦連、三春小中PTA、消防三春分団、交通安全協会、老人クラブ連合会など、町の団体組織の代表が役員や専門委員として選任されています。この当職制といわれる役員機構は、まちづくりのさまざまな課題について関係各団体から選ばれた役員が、まちづくり協会という一つのテーブルに着いて、それぞれの立場から意見を交わすことで、より適切な対策が検討できます。また、施策の実行段階では課題に関する団体組織を通して実効性が期待できるのがこの当職制の優位性です。つまり、各地区字の区長が役員として配されているということは、とりもなおさず地域の皆さんが「三春まちづくり協会」の構成員であり、「三春まちづくり協会」は地域の皆さんとのためのものであるとなるからです。

この様に、地域の皆さんの生活をより安全・快適にするためのまちづくりを考え、実践する住民のための「三春まちづくり協会」のあれこれを良く知っていただきため、広報「三春わが街」を発行し各世帯へお届けしてきました。しかし、住民の皆さんからの認知度がなかなか上がりません。広報を担当したものとして責任を感じつつ、これから三春のまちづくり活動に対し、より多くの住民の皆さんに理解と協力をいただき、まちづくり活動へ参加される事を願いながら、今後も機会があれば紹介して行きたいと思います。



—シリーズ—⑤

ぞ宜しくお願ひ致します

福祉部会 柳沼三雄さん

三月三日公演に於いては、字屋会による新旧合同委員会会合で、新字四役、各区長選出、その他町構成に対する役割分担が互選、指名により次々と決まっていく中、前字委員長より三春まちづくり協議会がより深入する事が希望され、部会として、生涯学習環境・福祉・地域・町並・広報六部会となつていて区規約による必ず入部する事が協会規約によるので、入部希望部があれどとの事でした。

私は障害者なので活動に限界がある旨を話したところ推進により福祉部会への加入となりました。福祉部会について一応知っていたつもりですが、昔、福祉とは?と聞いたところ、民生委員や字委員、健常者が強調者である高齢者・障害者・要介護者・民生の保護者などを守り、健人・健常者と一緒に幸せに生活するのが当たり前にあるための支援だと思い出しました。

福祉部会の課題、元気でござりますね。いいですね。今まで児童生徒の登校時に旗振り、見守りを入学時からちづくり活動となっていました。夏休みだけなど、年に十数回行なう程度でした。福祉部会で活動をと言われても何からやればいいのか見当がつきません。

五月二十一日に「グループホームみはる」に行つきました。民生児童委員の橋本さんや保健福祉課の大河原さんが質問などをして

お城山のアジサイ
植栽地の手入れ作業

いるのを見て自分も少しづつでも皆さんの役に立ちたいと思いました。福祉活動につきましては新人なので何もわかりません。部会の皆さんの足手まといや迷惑にならないよう町の歴史と文化を大切にしながら生活を通じ、ふれあいのある豊かな住み良い地域にしていきたいと思っております。皆様のご協力お願ひします。

昨年十二月から民生児童委員に委嘱され、心の準備が付かぬまま三春まちづくり協会へ広報部会の副部長会員に任せられました。何と多くからず戸惑を感じております。先日、新聞記事の▼「年をとるってどんな止まりました。①忘れっぽいといふだけれど、杯つままた知恵の箱」出すのちょっと迷うだけ。②耳は遠い

編集後記

「三春わが街」 第七十一回
発行日 平成二十六年六月三十日
編集部 三春まちづくり協議会
広報部 三春町大字白山東郷^{（六二）}
（六二）三九八八

▼ユダヤ系米国人のサム・ウルマンが「青春は」歳を重ねただけで老いない、夢を失ったとはじめて老いる。と言ふことは、いよいよこの言葉を信じて、広報部会のリーダーとして情報と共に協働するまことに、皆さんは活動を基本上に頂けます。広報をお届けできるよう、楽しく夢をもつて編集集いきたいとおもいます。皆さんの忌憚のないご意見とご指導をお願いいたしました。(橋本正幸)

編集後記